

令和6年9月18日

保護者の皆様

四国中央市立三島西中学校 校長 渡部 振一郎

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。平素は、本校の教育活動につきましてご理解とご協力をいただき、心より感謝しております。

さて、本年度4月に実施されました全国学力・学習状況調査（中学校3年生対象）の結果がまとまりました。

本校では、この分析結果を参考に、授業改善に尽力する所存ではありますが、この調査は、学力の一部であることや生活習慣・学習習慣も含めて改善していくための一つの手がかりとすることをご理解いただき、ご家庭においても、学校で取り組んでいる家庭学習や睡眠、朝食などの習慣付けについて、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

《配布資料》

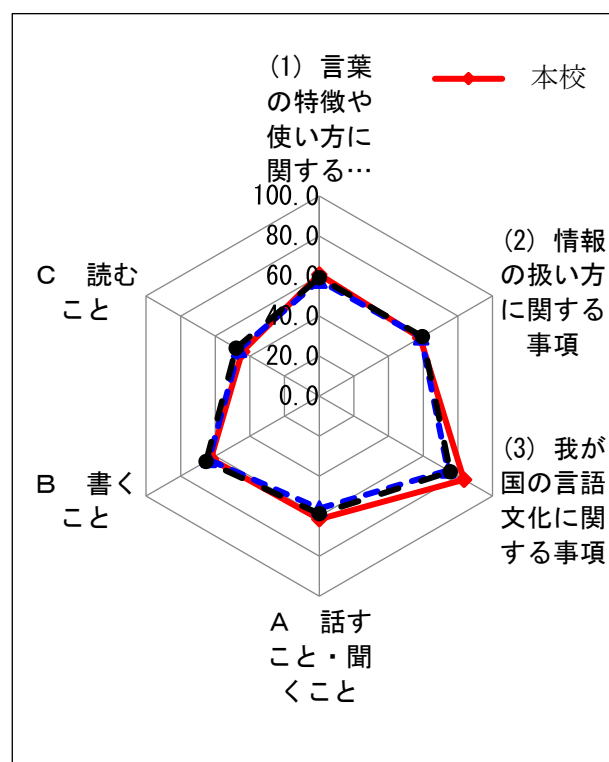
- 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（三島西中学校）・・・本紙と別紙
- 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（四国中央市）・・・別紙
- 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（各生徒個票）・・・別紙

《本校の結果についての分析》

○ 国語

本校の正答率は、各領域で県平均、全国平均とほぼ同じとなっており、バランスよく国語の力が付いているといえます。記述式の問題で無解答率が高くなっていますが、全国、県の平均と比べると、わずかに本校の方が無解答率が低く、根気よく問題に向き合っているといえます。領域別で正答率が高かったのは、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」です。「話すこと・聞くこと」では、資料を用いて自分の考えを分かりやすく伝えたり、話し合いの展開を捉えて自分の考えをまとめたりする力が問われる問題で正答率が高かったです。「書くこと」に関しては、文章を書く際に目的や意図に応じて資料を集め、伝えたいことを明確にする力が問われる問題で正答率が高く、力が付いている状況です。今後は、わずかに正答率が低い「読むこと」に関する力を伸ばしていきたいと思います。「文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を理解したり、文章の内容を要約したりする学習」「詩歌や小説を読み、表現の効果を考えたり表現を手掛かりに登場人物の心情を読み深めたりする学習」を充実させ、「読むこと」に関する力を付けていきたいと思います。

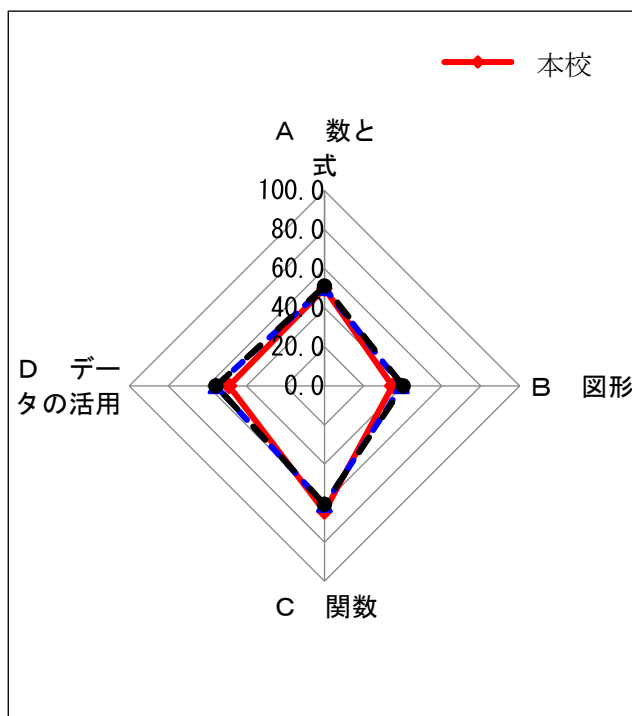
〈学習指導要領の領域等の平均正答率の状況〉



○ 数学

「数と式」の領域では、全体的には正答率が高く、計算力が身に付いていることが分かります。しかし、数の性質などを見いだしたり、文字式を使って考えたりすることへの苦手意識が見られました。「関数」領域における、与えられた表やグラフから適切な情報を読み取ることができるかどうかの問題では、県平均や全国平均を上回っています。「図形」領域では図形の移動についての正答率が高く、図形の性質や証明の根拠となる事柄の理解は進んでいますが、それらの性質を用いて図形の合同を証明するなどの問題に課題が残ります。「データの活用」領域では、与えられた資料から代表値を求めることはよくできていましたが、複数のデータから分布の傾向を比較して説明するなどの問題は県平均や全国平均を下回っています。全体的に短答式の問題では無回答率が低い反面、記述式の問題では無回答率が高くなっています。今後は、基礎・基本の定着を図れるよう、計算練習などを繰り返し行うとともに、学習の中で学び合い学習の機会を充実させながら数学的な言語活動を積極的に取り入れる学習に力を入れ、表現力を高めていきたいと考えています。

〈学習指導要領の領域等の平均正答率の状況〉



○ 生徒質問紙

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒のポイントが全国平均より高く、規範意識や自己有用感の高さが見られます。また、「学級の話合い活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」と答えた生徒も多く、自ら学ぶ姿勢を持って授業に臨んでいることが伺えます。「学習の中でICT機器を活用することで、友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなる」「友だちと協力しながら学習を進めることができる」と答えた生徒が多く、引き続きICT端末を活用した授業づくりに努めていきたいと考えています。授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと考えている生徒が多く、今回の問題での記述式の問題にも「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒が多くいるなど、学習課題に精一杯取り組む姿勢が見られました。しかし、「学校の授業以外に、普段どれくらいの時間勉強していますか」という問いに「3時間以上」「2時間以上3時間未満」と答えた生徒の割合が全国平均を大きく下回っています。また、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「朝食を毎日食べていますか」のポイントも全国平均を大きく下回っています。家庭学習習慣や基本的な生活習慣を身に付けるため、引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。